

京都ものづくり若手リーダー育成塾

未曾有の不況の中、打開策として新分野への進出や自社の技術の強みを活かした新しい製品開発をお考えではありませんか。

当センターでは、このような新しい領域を切り開いていく役割を担う人材を若手のリーダーと考え、平成19年度から若手リーダー候補を対象とした育成塾を開催しています。この塾では、チームとしての製品開発に必要なリーダーの知識とプロジェクトの遂行に必要なリーダーシップを身につける「プロジェクト・マネジメント」、顧客・市場のニーズから独自の開発テーマを導き出し、様々な発想法で全く新しい商品イメージを創造する「企画・発想」、企業が「環境・エネルギー分野」や「ライフサイエンス・ウエルネス分野」等の新しい分野に参入するための「新分野製品開発」の3つのテーマについてグループワーク形式で学び、他社の若手社員や中小企業技術センター職員等との交流を図り、新たな人脈づくりにも活用していただきたいと考えています。

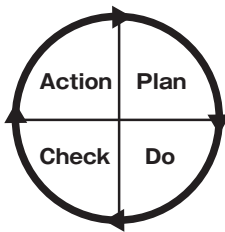
平成22年度の取組概要

平成22年度は、15社21名の塾生が集い、新たに「学び」と「挑戦」を行いました。また、1～4期生との合同見学会や交流会で、塾生同士の連携も生まれつつあります。

プロジェクト・マネジメント

◇プロジェクト・マネジメントとは

チームとは何か。チームでプロジェクトを遂行するメリットは何かなど、演習を通じて体験しました。具体的には、チームにおいてPDCAサイクルを展開するためにリーダーはどのような役割を担うべきかについて学習しました。



【卒業生のコメント】

受講後は成果が広まるよう、社内勉強会を開いています。社内で役立つ講座なのでありがたいです。(電子機器製造業 Aさん)



<グループで話し合い、コミュニケーションスキルを高める>

企画・発想

◇商品開発プログラム

商品を取り巻く3要素「ヒト・モノ・バ」を軸に、①顧客を意識した仮説をつくる ②自社が勝てる独自のテーマをつくる ③顧客が喜ぶ(欲しくなる)要素をつくる ④デザイン、設計を考えるの4つのステップでアイデアを絞り込む方法を学びました。

【卒業生のコメント】

学んだ開発手法を応用し、自社製品のプレゼン・マーケティングに活用しました。(電子部品製造業 Bさん)



<グループで、開発アイデアをまとめ、リーダーとしてプレゼンテーションをする>

新分野製品開発

◇研究施設見学

「環境・エネルギー分野」や「ライフサイエンス・ウエルネス分野」にかかる研究施設の見学を行い、研究者との交流を行いました。

◇卒業生との合同見学会、交流会

育成塾卒業生との合同で工場見学や交流会を行いました。

◇製品分析・開発演習

商品開発プログラムを応用し、実践的な課題による製品分析、開発演習を行いました。

【卒業生のコメント】

関心ある分野の先端研究施設を見学できて勉強になりました。見学終了後にも研究者にいろいろ質問できて参考になりました。(精密機械製造業 Cさん)



<有機太陽電池関係の研究施設を見学する>

平成23年度も引き続き6月頃に公募の案内をさせていただきますので、ぜひ、ご参加ください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
京都ものづくり若手リーダー育成塾事務局

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-9497

E-mail: waka-juku@mtc.pref.kyoto.lg.jp